

【樹木・草花の部屋】

ハブランサス（ヒガンバナ科ハブランサス属 Habranthus）

和名（漢字）；ハブランサス **別名**；レインリリー **英名**；

カズラ目 多年性草本植物

原産地；中南米

花言葉；優雅なたしなみ

花の色；ピンク,黄,複色



⇒ **写真－1** ハブランサスの花

撮影日：2004年7月15日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん

我が家のフェンス沿いに植えています。いつごろ植えたのか忘れましたが、ずいぶん昔のような気がします。

写真－2 ハブランサスのつぼみ

⇒

撮影日：2012年9月11日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん



球根植物なので、一度、植え付けるとアッと言う間に増殖。増えすぎるのを抑えるため、3～4年に一度、掘上げて再植付をしています。

春に球根を植えると初夏～秋に花を咲かせます。

【樹木・草花の部屋】

<ちょっと一言>

自生地では雨が降ったときにぱっと花を咲かせるので、レインリリーとも呼ばれます。常緑性の植物ですが、寒いと葉が枯れて休眠します。

葉は細長い線形で地際から出、花茎を長く伸ばしてその先端に、漏斗型の花を横もしくは斜め上向きに咲かせます。花は通常1茎1輪ですが、まれに2~4輪咲かせることもあるそうですが、我が家では見た記憶はありません。ほとんどの種は一日花で、咲いた花はその日のうちにしぼんでしまいます。たくさんの球根を詰めて植えると開花時に見栄えがします。ハブランサスはギリシャ語のハブロス(優雅な)とアンサス(花)から・・・。「優雅な花」という意味。

非常に近縁で見た目がそっくりな仲間にゼフィランサス(タマスダレ)があり、同様にレインリリーと・・・。ハブランサスは花が斜め上向きや横向きに咲き、ゼフィランサス真上に向いて咲くなどで両者を区別しているようです。小生は、葉で見分けています。ハブランサスは幅広、ゼフィランサスは細めで固め・・・。

代表的な種に淡いピンクの大輪花が美しく、ピンクレインリリーとも呼ばれるロブスタス〔H. robustus〕や濃い黄色で花びらの外側に赤い筋が縦に入るツビスパツス〔H. tubispathus〕があるそうです。ピンク色の花を咲かせる園芸品種のチェリー・ピンク〔'Cherry Pink'〕は強健で育てやすく、広く普及しているそうです。ちなみに、我が家はチェリー・ピンクです。